

令和6年1月23日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課  
課長 小川 智瑞子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)  
特定非営利活動法人あしやNPOセンター  
事務局長 橋野 浩美

### ソーシャルナイト～夜の社会貢献勉強会 V o l . 1 1 9 事業報告書

- 1 日 時：1月19日（金）18：30～20：00
- 2 担 当：二宮 毅行
- 3 参加者：14名（会場6名、オンライン7名、ゲストスピーカー1名）
- 4 ゲストスピーカー：阪田 昌三さん（NPO法人キャンピズ ウィズ芦屋管理者）
- 5 事業詳細
  - (1) 目 的：障がい者向けキャンプ事業を手掛けるキャンピズのスタイルを生かした就労継続支援B型作業所ウィズ芦屋の取り組みについて学ぶ。
  - (2) 内 容：キャンピズのキャンプ事業の紹介からウィズ芦屋における就労支援への取り組みについて話し、参加者との意見、情報交換を行った。
- 6 アンケート内容（7件の回答を記載）
  - ・とても役立った…6件、少し役立った…1件  
（コメント）
  - ・阪田さんのお話を是非、聴いてみたいと思い、参加させていただきました。すごくわかりやすいお話で、阪田さんご自身、また皆さんが楽しむということを大切にされていることが伝わってきました。障がい、病気の方々も生きやすい社会になるといいなあと日々思っていますし、ボランティア活動も、まず自分自身が楽しいという気持ちを持つべきだなあと感じました。
  - ・楽しく仕事をするという気概が湧いてきた。その仕事が社会貢献につながれば尚、活動範囲が広がり面白いと感じた。
  - ・じっくりと活動内容を聴ける機会があってとても良かったです。芦屋の福祉を活性化させるためには重要な方ですね。
  - ・次回お目にかかった時に私が発題した本市での活動について企画しましょう。
- 7 振り返り
  - ・障がい者支援事業に関わる方の参加が多く、ウィズ芦屋の取り組みに参加者からは感想や提案がなされるなど関心の高さが伺えた。
  - ・まだまだ障がい者への社会の理解や関わりが進んでいないといった意見がいくつか出たことに対して、野菜販売など施設と地域を繋ぐ小さなイベント開催が紹介された。参加者から次はいつ開催されるのかといった問合せがあるなど反応が高かった
  - ・何をやりたいのかを自分たちが企画して楽しむというキャンピズ流キャンプの

エッセンスがウィズ芦屋の運営に取り入れられていることに障がい者就労支援の持続性と温かさを感じた。

以上



令和6年1月23日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課  
課長 小川 智瑞子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)  
特定非営利活動法人あしやNPOセンター  
事務局長 橋野 浩美

### ソーシャルナイト～夜の社会貢献勉強会 V o l . 1 1 9 事業報告書

- 1 日 時：1月19日（金）18：30～20：00
- 2 担 当：二宮 毅行
- 3 参加者：14名（会場6名、オンライン7名、ゲストスピーカー1名）
- 4 ゲストスピーカー：阪田 昌三さん（NPO法人キャンピズ ウィズ芦屋管理者）
- 5 事業詳細
  - (1) 目 的：障がい者向けキャンプ事業を手掛けるキャンピズのスタイルを生かした就労継続支援B型作業所ウィズ芦屋の取り組みについて学ぶ。
  - (2) 内 容：キャンピズのキャンプ事業の紹介からウィズ芦屋における就労支援への取り組みについて話し、参加者との意見、情報交換を行った。
- 6 アンケート内容（7件の回答を記載）
  - ・とても役立った…6件、少し役立った…1件  
（コメント）
  - ・阪田さんのお話を是非、聴いてみたいと思い、参加させていただきました。すごくわかりやすいお話で、阪田さんご自身、また皆さんが楽しむということを大切にされていることが伝わってきました。障がい、病気の方々も生きやすい社会になるといいなあと思っておりますし、ボランティア活動も、まず自分自身が楽しいという気持ちを持つべきだなあと感じました。
  - ・楽しく仕事をするという気概が湧いてきた。その仕事が社会貢献につながれば尚、活動範囲が広がり面白いと感じた。
  - ・じっくりと活動内容を聴ける機会があってとても良かったです。芦屋の福祉を活性化させるためには重要な方ですね。
  - ・次回お目にかかった時に私が発題した本市での活動について企画しましょう。
- 7 振り返り
  - ・障がい者支援事業に関わる方の参加が多く、ウィズ芦屋の取り組みに参加者からは感想や提案がなされるなど関心の高さが伺えた。
  - ・まだまだ障がい者への社会の理解や関わりが進んでいないといった意見がいくつか出たことに対して、野菜販売など施設と地域を繋ぐ小さなイベント開催が紹介された。参加者から次はいつ開催されるのかといった問合せがあるなど反応が高かった
  - ・何をやりたいのかを自分たちが企画して楽しむというキャンピズ流キャンプの

エッセンスがウィズ芦屋の運営に取り入れられていることに障がい者就労支援の持続性と温かさを感じた。

以上



令和6年1月23日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課  
課長 小川 智瑞子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)  
特定非営利活動法人あしやNPOセンター  
事務局長 橋野 浩美

### ソーシャルナイト～夜の社会貢献勉強会 V o l . 1 1 9 事業報告書

- 1 日 時：1月19日（金）18：30～20：00
- 2 担 当：二宮 毅行
- 3 参加者：14名（会場6名、オンライン7名、ゲストスピーカー1名）
- 4 ゲストスピーカー：阪田 昌三さん（NPO法人キャンピズ ウィズ芦屋管理者）
- 5 事業詳細
  - (1) 目 的：障がい者向けキャンプ事業を手掛けるキャンピズのスタイルを生かした就労継続支援B型作業所ウィズ芦屋の取り組みについて学ぶ。
  - (2) 内 容：キャンピズのキャンプ事業の紹介からウィズ芦屋における就労支援への取り組みについて話し、参加者との意見、情報交換を行った。
- 6 アンケート内容（7件の回答を記載）
  - ・とても役立った…6件、少し役立った…1件  
（コメント）
  - ・阪田さんのお話を是非、聴いてみたいと思い、参加させていただきました。すごくわかりやすいお話で、阪田さんご自身、また皆さんが楽しむということを大切にされていることが伝わってきました。障がい、病気の方々も生きやすい社会になるといいなあと思っておりますし、ボランティア活動も、まず自分自身が楽しいという気持ちを持つべきだなあと感じました。
  - ・楽しく仕事をするという気概が湧いてきた。その仕事が社会貢献につながれば尚、活動範囲が広がり面白いと感じた。
  - ・じっくりと活動内容を聴ける機会があってとても良かったです。芦屋の福祉を活性化させるためには重要な方ですね。
  - ・次回お目にかかった時に私が発題した本市での活動について企画しましょう。
- 7 振り返り
  - ・障がい者支援事業に関わる方の参加が多く、ウィズ芦屋の取り組みに参加者からは感想や提案がなされるなど関心の高さが伺えた。
  - ・まだまだ障がい者への社会の理解や関わりが進んでいないといった意見がいくつか出たことに対して、野菜販売など施設と地域を繋ぐ小さなイベント開催が紹介された。参加者から次はいつ開催されるのかといった問合せがあるなど反応が高かった
  - ・何をやりたいのかを自分たちが企画して楽しむというキャンピズ流キャンプの

エッセンスがウィズ芦屋の運営に取り入れられていることに障がい者就労支援の持続性と温かさを感じた。

以上



令和6年1月23日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課  
課長 小川 智瑞子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)  
特定非営利活動法人あしやNPOセンター  
事務局長 橋野 浩美

### ソーシャルナイト～夜の社会貢献勉強会 V o l . 1 1 9 事業報告書

- 1 日 時：1月19日（金）18：30～20：00
- 2 担 当：二宮 毅行
- 3 参加者：14名（会場6名、オンライン7名、ゲストスピーカー1名）
- 4 ゲストスピーカー：阪田 昌三さん（NPO法人キャンピズ ウィズ芦屋管理者）
- 5 事業詳細
  - (1) 目 的：障がい者向けキャンプ事業を手掛けるキャンピズのスタイルを生かした就労継続支援B型作業所ウィズ芦屋の取り組みについて学ぶ。
  - (2) 内 容：キャンピズのキャンプ事業の紹介からウィズ芦屋における就労支援への取り組みについて話し、参加者との意見、情報交換を行った。
- 6 アンケート内容（7件の回答を記載）
  - ・とても役立った…6件、少し役立った…1件  
（コメント）
  - ・阪田さんのお話を是非、聴いてみたいと思い、参加させていただきました。すごくわかりやすいお話で、阪田さんご自身、また皆さんが楽しむということを大切にされていることが伝わってきました。障がい、病気の方々も生きやすい社会になるといいなあと思っておりますし、ボランティア活動も、まず自分自身が楽しいという気持ちを持つべきだなあと感じました。
  - ・楽しく仕事をするという気概が湧いてきた。その仕事が社会貢献につながれば尚、活動範囲が広がり面白いと感じた。
  - ・じっくりと活動内容を聴ける機会があってとても良かったです。芦屋の福祉を活性化させるためには重要な方ですね。
  - ・次回お目にかかった時に私が発題した本市での活動について企画しましょう。
- 7 振り返り
  - ・障がい者支援事業に関わる方の参加が多く、ウィズ芦屋の取り組みに参加者からは感想や提案がなされるなど関心の高さが伺えた。
  - ・まだまだ障がい者への社会の理解や関わりが進んでいないといった意見がいくつか出たことに対して、野菜販売など施設と地域を繋ぐ小さなイベント開催が紹介された。参加者から次はいつ開催されるのかといった問合せがあるなど反応が高かった
  - ・何をやりたいのかを自分たちが企画して楽しむというキャンピズ流キャンプの



エッセンスがウィズ芦屋の運営に取り入れられていることに障がい者就労支援の持続性と温かさを感じた。

以上





令和6年1月23日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課  
課長 小川 智瑞子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)  
特定非営利活動法人あしやNPOセンター  
事務局長 橋野 浩美

### ソーシャルナイト～夜の社会貢献勉強会 V o l . 1 1 9 事業報告書

- 1 日 時：1月19日（金）18：30～20：00
- 2 担 当：二宮 毅行
- 3 参加者：14名（会場6名、オンライン7名、ゲストスピーカー1名）
- 4 ゲストスピーカー：阪田 昌三さん（NPO法人キャンピズ ウィズ芦屋管理者）
- 5 事業詳細
  - (1) 目 的：障がい者向けキャンプ事業を手掛けるキャンピズのスタイルを生かした就労継続支援B型作業所ウィズ芦屋の取り組みについて学ぶ。
  - (2) 内 容：キャンピズのキャンプ事業の紹介からウィズ芦屋における就労支援への取り組みについて話し、参加者との意見、情報交換を行った。
- 6 アンケート内容（7件の回答を記載）
  - ・とても役立った…6件、少し役立った…1件  
（コメント）
  - ・阪田さんのお話を是非、聴いてみたいと思い、参加させていただきました。すごくわかりやすいお話で、阪田さんご自身、また皆さんが楽しむということを大切にされていることが伝わってきました。障がい、病気の方々も生きやすい社会になるといいなあと日々思っていますし、ボランティア活動も、まず自分自身が楽しいという気持ちを持つべきだなあと感じました。
  - ・楽しく仕事をするという気概が湧いてきた。その仕事が社会貢献につながれば尚、活動範囲が広がり面白いと感じた。
  - ・じっくりと活動内容を聴ける機会があってとても良かったです。芦屋の福祉を活性化させるためには重要な方ですね。
  - ・次回お目にかかった時に私が発題した本市での活動について企画しましょう。
- 7 振り返り
  - ・障がい者支援事業に関わる方の参加が多く、ウィズ芦屋の取り組みに参加者からは感想や提案がなされるなど関心の高さが伺えた。
  - ・まだまだ障がい者への社会の理解や関わりが進んでいないといった意見がいくつか出たことに対して、野菜販売など施設と地域を繋ぐ小さなイベント開催が紹介された。参加者から次はいつ開催されるのかといった問合せがあるなど反応が高かった
  - ・何をやりたいのかを自分たちが企画して楽しむというキャンピズ流キャンプの

エッセンスがウィズ芦屋の運営に取り入れられていることに障がい者就労支援の持続性と温かさを感じた。

以上

